



～熊本都市計画 桜町地区第一種市街地再開発事業／熊本の新しいランドマーク～

商業施設「SAKURA MACHI Kumamoto」来館100万名突破

(2019年9月14日のグランドオープンから10日間(累計)、「熊本桜町バスターミナル」を含む)

～初日は市街地の“にぎわい創出”、周辺地域の“回遊性向上”にも一定の手応え～

九州産交ランドマーク株式会社(本社：熊本県熊本市中央区花畑町／代表取締役社長 矢田 素史)は、桜町再開発事業における商業施設「SAKURA MACHI Kumamoto(サクラマチ クマモト)」では、グランドオープンの9月14日から10日間で、累計のべ100万名の皆様にお越しいただいたことを発表いたします。



SAKURA MACHI Kumamoto グランドオープン(2019年9月14日)

9月14日	(土)	約25万人
9月15日	(日)	約11万人
9月16日	(月・祝)	約13万人
9月17日	(火)	約7万人
9月18日	(水)	約6.5万人
9月19日	(木)	約6万人
9月20日	(金)	約5.5万人
9月21日	(土)	約8万人
9月22日	(日)	約8万人
9月23日	(月・祝)	約10万人

累計 約100万人

SAKURA MACHI Kumamoto累計来館者数

「SAKURA MACHI Kumamoto」グランドオープン初日は、「熊本県内バス・電車無料の日」(*1)のキャンペーン等との相乗効果もあり、併設の「熊本桜町バスターミナル」利用を含む、年間の来館目標(*2)の100分の1となる25万名の皆様にご来店いただき結果となりました。同日は近隣の商店街区においても通常の同曜日に比べ通行量が多く、また、施設周辺においては目立った交通渋滞も見られなかったことから、私どもが当施設に期待を寄せている、市街地の“にぎわい創出”と周辺地域の“回遊性向上”については、初日は一定の手応えを感じています。

グランドオープン2日目以降も好天に恵まれたため、屋上庭園や各フロアにあるストリートビューテラスへの関心が高かったことも、10日間で100万名超のお客さまに来館をいただいた背景にあると分析しています。また、九州初出店のテナントも好評で、タピオカドリンク専門店「辰杏珠(シンアンジュ)」では連日行列が続き、平日でも平均1時間待ちの状況。焼肉専門店の「叙々苑」ではオープンからの10日間で約2,500名の来店があった等、全テナントの約半数を占めるグルメ・ドリンク部門がお客さまの来館動機をけん引している様子も伺えます。



写真左：辰杏珠「黒糖バブルミルク」イメージ
／写真右：叙々苑「すだれ炙り焼」イメージ



今後も「SAKURA MACHI Kumamoto」は、モノ(＝ショッピング)・コト(＝リアル体験)・エン(ご縁・つながり)を創造し続け、県内外からさまざまな目的でお越しになるお客さまが訪れるたびに新鮮な感動をお持ち帰りいただける、唯一無二の複合型施設を目指してまいります。

「熊本県内バス・電車無料の日」(*1)：2019年9月14日限定で、熊本県内すべてのバス、電車を終日無料化を実現した九州産交グループ主導のキャンペーン(一部対象路線あり)。／来館目標(*2)：「熊本桜町バスターミナル」を含む、商業施設「SAKURA MACHI Kumamoto」年間来館目標2,500万人。

＜＜当件に関するお問い合わせ＞＞

SAKURA MACHI Kumamoto

開業準備室／広報：和田直人

☎ 080-5801-8583

✉ wada-naoto@kyusanko.co.jp

SAKURA MACHI Kumamoto
公式サイト▶▶

SAKURA MACHI Kumamoto

検索

